

情報公開用文書(附属市民総合医療センターで実施する研究)

西暦 2017年 5月 22日作成

研究課題名	クローン病手術例の再発危険因子の検討 －多施設共同研究による前向き研究－
研究の対象	当院で初回腸切除、または狭窄形成術を施行したクローン病症例の患者さんで、年齢は問いません。
研究の目的	術後の再発予防治療が必要な患者さんを選択し、適切な術後の再発予防治療を行うために、術後再発の危険因子となりうるものを明らかにすることを目的としています。
研究の概要	クローン病手術症例に対して、多施設共同で前向きに術後再発率、再発危険因子を検討します。術後経過観察期間は再発の有無にかかわらず、手術から5年とします。
研究の方法	手術の情報やその後の経過や検査結果などについてのデータをアンケート調査用紙へ記入をして研究代表機関へ提出をします。
研究期間	西暦 2017年 6月 1日 ～ 西暦 2024年 1月 31日まで
個人情報保護に関する配慮	登録患者の同定や照会は、登録時に発行される症例登録番号を用いて行われます。登録時に当施設において連結可能匿名化を実施し、研究事務局へ直接患者を識別できる情報が登録されることはありません。
<p>本研究のために、患者さんにあらたな負担や危険が生じることはありません。患者さんもしくはご家族の方等がこの研究へのご参加を希望されない場合は、以下の連絡先までご連絡いただけましたら、その方の情報は本研究に利用しないようにいたします。本研究への参加をお断りになられたとしても、不利益になることは一切ございません。</p>	
<p>問合せ先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：</p> <p>〒232-0024 横浜市南区浦舟町 4-57 横浜市立大学附属市民総合医療センター 炎症性腸疾患センター 木村 英明 電話番号：045-261-5656（代表） FAX：045-261-5656</p>	